

議長定例記者会見／令和5年12月8日（金）

○丸井議長

それでは、まず初めに、第316回定例会の採決結果について御報告いたします。知事提出議案38件のうち、議案35件を可決・認定し、報告のみが3件でした。議員発議案については、提出された5件のうち2件を可決し、3件が否決となりました。請願及び陳情については、受理された2件のうち1件は採択され、1件は不採択となりました。議員派遣については、国内派遣2件が可決されました。

私からは以上でございます。

○記者

先ほどの本会議で、今博議員の賛成討論を途中で打ち切る形になったと思うんですが、その理由を教えてください。

○丸井議長

討論が始まる前に、討論は議題外にわたらないよう簡明に願いますということは申し上げてありました。しかし、討論とは関係の無い内容が多数含まれていると判断したため、討論の途中で3度ほど注意させていただきましたが止めなかったということで、発言を打ち切らせていただいたということです。

○記者

追加提案された補正予算について、陸奥湾の養殖ホタテ貝の高水温被害に対応した予算もありますが、可決されたことを受けて、改めて、議長としての受け止めであったり、執行部に求めたいことがあればお聞かせください。

○丸井議長

ホタテ貝関連に関しては当然やらなければならないことでありますから、補正予算が可決したことはいいと思います。ただ、これから生産が再開されて、また青森県のホタテが復活するかといえば、まだ難しい部分があるかと思っておりますので、県はこれからもしっかりと漁業者に向き合って取り組んでいかなければならないだろうし、我々議会といたしましてもしっかりとバックアップしていきたいと思っております。

○記者

議長に御就任されて半年あまりが過ぎて師走ということで、来年に向けて、就任からを振り返って、御感想みたいなものがあればお聞かせください。

○丸井議長

新型コロナウイルスの5類移行に伴い、議員の皆様方の活動が県内も県外も本格的になったということもありまして、これからはもっと盛んに議員活動ができるのではないかという点が1点。また、20年に及ぶ三村県政が宮下県政に変わり、今、宮下知事が新しい施策を一生懸命打ち出しているというところで、具体的なものはまだ見えてきていませんが、多分、今の予算の関係、次の議会に上程される知事部局の再編の関係等々で、中身の細かい部分が見えてくるんだらうと思っていました。

その時にまた、議会と知事との議論が活発化すればいいなという思いであります。

○記者

今、議長がお触れになった組織再編の件ですけれども、知事の方針案からすると、常任委員会の構成等、議会にも多分に影響すると思います。2月に改正案という話が出ていますけれども、それまでに、執行部からかなりの説明を受けないと、どういった委員会構成がいいのかといった詳細な議論ができないと思うんですけれども、議会としてどういったことが必要ですか。

○丸井議長

おっしゃるとおり、中身が分からないと、我々もどのような委員会構成にすればいいのかということが判断できませんので、当然、知事部局とその辺は詰めていかなければならないと思っております。それがいつの段階になるのかというのは、まだ、申し上げることはできません。

○記者

例えば、協議会というか会議というか、そういったものが必要になるのでしょうか。

○丸井議長

我々には分からない知事しか分からない部分が多数あると私は思っております。先ほども申し上げましたけれども、中身を教えていただかない限り我々も判断できませんので、それを聞いてから我々も考えるということになるかとは思っております。

○記者

今回の議会は、2024年度からの核燃料物質等取扱税の引き上げというのが、一つの大きなテーマだったと思うんですが、県は今回、子育て環境の構造など、従来の財政需要とは若干異なる説明をしていたように見受けられます。そこで、議長の所感として、今回、県の核燃料物質等取扱税の財政需要に対しての説明が十分だったかどうか、どうお考えですか。

○丸井議長

十分だったかどうかと言われればなんともいえませんが、議員の皆さんからの質問に対し答えが返ってきていますし、知事が、子育て支援といえますか、そういうことをこれから一生懸命やりたいとなっ

た時に予算をどこから見つけてくるかなれば、そこら辺は工面せざるを得ないだろうと。

私は、その辺は、多少理解はするところであります。

○記者

話題が戻りまして、今議員の討論のことで確認なんですけれども、まずは、ああいった討論が今日行われたことに対する議長の受け止めをお伺いしたいのと、今議員に対して議長名で注意するなど議会側の対応が何かあれば。

○丸井議員

受け止めについては、先ほど申し上げましたけれども、一番最初に、討論は議題外にわたらないよう簡明に願いますよということを申し上げてありますから、その辺がよくお分かりになっていなかったんだろうと思っています。ですから討論の途中で3度ほど注意させていただきましたが止めなかったということで、発言を打ち切らせていただいたということでもあります。

これに対してどうするのかということに関しましては、壇上で私から注意しておりますので、改めて注意をするということとはしなくても良いのではないかなと思っています。

○記者

会議を取り仕切られるお立場としては、残念だとか遺憾だとか、そういう感じはありますか。

○丸井議長

注意を3度もさせられたということは、遺憾であります。

○記者

先ほども話がありましたが、宮下知事が就任されてまもなく半年になるということで、この半年間の宮下県政を見て、政策、政治姿勢、議会との関わり方、どのように受け止めていらっしゃるか、また、注文などがあればお願いします。

○丸井議長

前日も申し上げましたけれども、宮下知事は、マスコミの皆さんに情報を提供してから議会に説明をするというパターンが非常に多いと思っています。知事は一輪と言いましたけれども、議会とすれば一輪では困るのでやはり二輪ということで、議会に先に説明するなり一緒に説明するのが当たり前でしょうし、議会に対する説明はもう少し丁寧にしていただきたいなという思いはしています。

以上です。ありがとうございました。